

学校、ご家庭でも  
お使いください。

## ワークブックの使い方

三重県では、平成26年の開館を目指し、新しい県立博物館づくりを進めています。新しい県立博物館では、「ともに考え、活動し、成長する博物館」を活動理念として、県民や利用者の方々との協創による博物館づくりを進めています。この新しい県立博物館が目指す取組は、現行の三重県立博物館でも先行的に試行しています。平成24年1月21日から2月26日まで伊勢市立小俣図書館で開催する移動展示「くらしの道具 いま・むかし」も例外ではなく、学校教育や地域の方々と連携した取組を行っています。

とくに、今回の移動展示のテーマである「昔の道具」は、小学校3年生が社会科で学習する单元となっていますので、開催地域の先生方と連携を密にし、多くのご助言をいただきました。このワークブックもその成果の一つです。移動展示会場をはじめ、学校の授業やご家庭でもお使いいただけるように工夫していますので、ぜひご利用ください。

### 【移動展示での利用】

- ・ 会場で実際の道具を見ながら、わかったことを書き込んでください。
- ・ 白紙のページ(11～12ページ)は、展示会場で関心を持った道具について調べる際にお使いください。
- ・ お近くの郷土資料館などでもお使いいただけると思います。

### 【学校での利用】

- ・ 社会科「昔の道具」における調べ学習の素材としてご活用ください。
- ・ 学校などにある道具について、白紙のページを使って調べてください。

### 【ご家庭での利用】

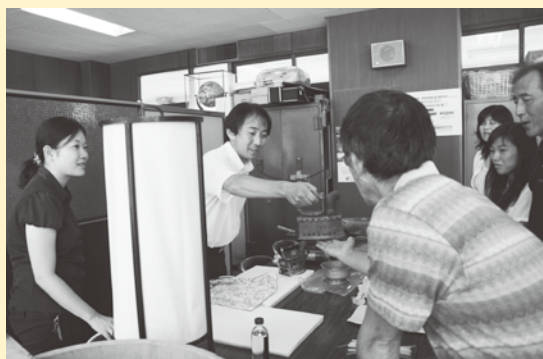
- ・ 自分のおじいさんやおばあさん、近所のおじいさんやおばあさんに道具の写真をもらい、お話を聞かせてもらいながら、わかったことを書き込んでください。思い出話は、とくにしっかりと聞きましょう。
- ・ 白紙のページは、ご家庭にある道具を調べる際にお使いください。

このワークブックは、三重県立博物館のホームページにも掲載していますので、ダウンロードしてご自由にお使いください。なお、本冊子で取りあげている道具は、すべて三重県立博物館が収蔵している民俗資料です。

三重県立博物館ホームページ <http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/haku/>



## 小学校の先生方にご意見をいただきながら、一緒に作成しました



子どもたちに教えるプロの先生方と、資料の保存・活用を担う博物館学芸員の連携により、“使ってもらえる”ワークブックを目指しました。

伊勢市立小俣小学校を会場に、市内の小学校の先生方にお集まりいただき、ワークブックについて一緒に考えるワークショップを行いました。先生方には館から持参した炭火アイロンや石臼の使い方を体験していただいた後、冊子の案についてご意見をいただきました。日々子どもたちに接している先生方からは、教えるプロの視点から多くのご助言をいただき、実り多いワークショップになりました。

ワークショップの後も先生方との意見交換を行いながら、この冊子を完成させました。

## —— 移動展示「くらしの道具 いま・むかし」のご案内 ——

会期：平成24年1月21日(土)～2月26日(日)

休館日 1月24日(火)・31日(火)、2月7日(火)

10日(金)・14日(火)・21日(火)

会場：伊勢市立小俣図書館 2階ホール

〒519-0505 伊勢市小俣町本町2番地

TEL：0596-29-3900

お問い合わせ

三重県立博物館・新博物館整備推進室

〒514-0006 三重県津市広明町147-2

TEL：059-228-2283

FAX：059-229-8310

<http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/haku/>

ぜひお越しください

